

015

寝袋になるリュック「3 way 防災リュック」

取組主体

サムライ金沢株式会社

従業員数

2人

想定災害

全般

実施地域

石川県

- 大学発ベンチャー企業が地元産業の力を活かし、災害時に「リュック」、「寝袋」、「ブランケット」の3通りの使い方ができる「3 way 防災リュック」を開発、販売している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

「1つで3役」の防災リュックを開発・販売

- 北陸大学発のベンチャー企業、サムライ金沢株式会社は、令和3年に「災害時に持ち出すリュック」「避難所で使用できる寝袋」「ブランケット」の機能を1つに兼ね備えた「3 way 防災リュック」の販売を開始した。
- 同社代表が代表理事を務める一般社団法人北陸SDGs 総合研究所が、令和2年に損害保険ジャパン株式会社金沢支店と防災等に関する連携協定を結び、共同で開発に取り組んだ。
- 避難所でブランケットの備蓄が足りず寒い思いをしたという体験談等をもとに、避難所で温かく安心感を持って過ごしてもらえるよう、寝袋やブランケットになる防災リュックを開発した。リュックは23リットルの大容量で、防災グッズ以外の日用品も収納できる。生地の外側は防水、内側は静電気や花粉対策の素材を採用し、機能性と心地よさを追求した。
- ナイロンやポリエステル等の素材はすべて国産で、「地元産業の力になれば」と約8割を石川県内で調達した。縫製加工も国内で行い、品質にこだわった。地元産業、地元の技術力を防災に活かした製品である。



3 way 防災リュック（リュック、寝袋、ブランケット）

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 防災だけでなく、アウトドア時に活用して普段から使い慣れてもらうことや、豪雪時に車中に取り残された際の避難用として冬季に活用してもらうことを提唱している。

3 現状の課題・今後の展開等

- 地域の特性に合わせた多様な防災リュックの開発を目指している。また、小学生や中学生の防災訓練にも活用してもらえるように、3 way 防災リュックを使った訓練メニューを開発したいと考えている。
- 損害保険ジャパン株式会社金沢支店の主催で、小学生対象の「防災リュックデザインコンテスト」を開催した。優秀な作品を防災リュックに入っている水のラベルに採用するなど、子どもたちの防災に対する意識を高める活動もしており、今後も継続していきたいと考えている。

担当者の声

- 防災リュックは、決して使うことがない方がよいものです。しかし万が一の時に、避難所で心細く辛い中で少しでも心と体を安らげるようにと考えました。もう震度5ではあまり驚かなくなってきたほど頻発している地震に対し、自身と大切な人を守るために、是非1人に1つ持ってほしいと思っています。

問合せ先

サムライ金沢株式会社 法人番号：7220001021009
TEL：076-254-1180 FAX：076-254-1181
E-Mail：info@samurai-kanazawa.com

サイト URL



動画

